

## 第5章 市民・事業者の環境負荷低減のための行動指針

### 1 作成の目的とその活用

#### (1) 目的

今日の環境問題は、海や河川の水質汚濁やごみの散乱といった身近な問題から、地球温暖化などの地球規模の問題など、規模や内容も多様なものとなっています。

その原因の多くは、私たちの日常生活や事業活動と深く関わっています。

これらの環境問題の解決のためには、行政の取組みや体制の整備に加え、市民・事業者も問題に対し、関心を持ち、それぞれが具体的に行動を起こすことが必要です。

このようなことから、市民・事業者が日常生活や事業活動の中で環境に関心を持ち、具体的な行動を自主的に実践できるようにするため、「環境への配慮行動指針」と「具体的な行動例」を示しています。

#### (2) 活動にあたって

「行動指針」並びに「行動例」は、本市の現況、近年の社会的な環境への取組み動向などを踏まえ、前計画の見直しを行い、市民・事業者ごとに日常生活や事業活動の各場面において、具体的に行動する際の参考例として整理しています。

また、ここで示したものの以外にも、環境負荷低減のための「配慮行動」があり、生涯学習・学校教育などの環境学習の場を積極的に活用しながら、取り組むことが望まれます。

## 2 環境負荷低減のための「環境への配慮行動指針」と「具体行動例」

### (1) 市民

区分	環境の配慮指針・具体行動例
① 買物をするとき	1)必要のないものは、購入しないようにしましょう。 ・食べ残すことのないよう計画的に買い物をしましょう。
	2)リサイクル製品や省エネ製品などの環境にやさしい製品の購入に努めましょう。 ・エコマークやグリーンマークなどの環境ラベルの付いた製品を買うようにしましょう。 ・紙製品は、再生紙を利用したものを買いましょう。 ・電化製品は、省エネルギー効果の高い製品を買いましょう。 ・できるだけ地元産の食材、有機農産物などを買うように努めましょう。 ・乗用車などを買うときは、低公害車・低排出ガス車などの環境への負荷の少ない自動車の購入に努めましょう。
	3)ごみの排出が少ない買い物に努めましょう。 ・買い物袋、マイバックを持参し、必要以上の包装を断りましょう。(簡易包装の推進) ・使い捨ての製品は、なるべく買わないようにしましょう。 ・再利用、リサイクル、詰め替え可能な製品を購入しましょう。 ・長期間の使用が可能な修理体制が充実している製品を買うようにしましょう。
	【取組みの効果】 ごみの排出を抑制するには、ごみになるものを買わないことが大切です。再利用、リサイクル、詰め替え可能な製品を購入するとごみの排出を抑制することができます。
② 暮らしの中	1)電気の節約に努めましょう。 ・電化製品はこまめに消しましょう。 ・待機電力の使用を削減するために主電源を切りましょう。(コンセントからプラグを抜くと効果的です。) ・温風ヒーターなどは定期的に清掃し、適切な利用に努めましょう。 ・冷(暖)房の温度設定を今より上(下)げましょう。(クールビズ・ウォームビズの推進) ・冷蔵庫には物を詰め過ぎず、開閉を少なくしましょう。
	【取組みの効果】 消費電力量を削減することにより、化石燃料の使用量が削減され、地球温暖化等の防止にもつながります。

区分	環境の配慮指針・具体行動例
② 暮ら し の 中	<p>2)節水に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台所などの水を流しっぱなしで使わないようにしましょう。</li> <li>・お風呂の残り湯を洗濯水に利用するなど、積極的に使用量を減らしましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>水道水を作るには、多くのエネルギーや資源が必要になるため、水以外の資源を節約することにもつながります。水は命のみなもとです。大切に使いましょう。</p>
	<p>3)生活排水の排出抑制に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・てんぷら油など廃食用油は市内各施設にある油回収容器に入れるなど、リサイクルに努めましょう。</li> <li>・食器や鍋についたひどい汚れは、新聞紙などで拭き取ってから洗いましょう。</li> <li>・水切りネットを使用し、調理くずなどを流さないようにしましょう。</li> <li>・合成洗剤の使用を控え、環境にやさしい洗剤等の使用に努めましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>水環境の保全につながります。また、生活排水の浄化には、多くのエネルギーや資源を使うため、水以外の資源を節約することにつながります。</p> <p>廃植物油を再利用しバイオディーゼル燃料などに精製することは、循環型社会に貢献できます。</p>
	<p>4)化石燃料の使用を減らしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石油ストーブやガスコンロはこまめに清掃しましょう。</li> <li>・給湯器の温度設定は出来るだけ低くしましょう。</li> <li>・追い炊きをしないようにするため、お風呂に続けて入ったり、お湯が冷めないよう浴槽にふたをしましょう。</li> <li>・ガスコンロの火が大きくはみ出さないように（中火）使用し、お湯を沸かすときなどは、必要以上に沸騰させないようにしましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>化石燃料の消費抑制につながります。</p> <p>化石燃料はその燃焼に伴い二酸化炭素を排出します。二酸化炭素などの大量排出は地球温暖化の原因といわれ、化石燃料の消費を抑制することは、地球温暖化の防止に効果があるといえます。また、化石燃料は有限といわれ、いずれなくなってしまう。日本は使用する化石燃料の殆どを輸入に依存しています。輸入にかかる輸送エネルギーなどのコストを考慮すると、更に有効に使うべき資源です。</p>

区分	環境の配慮指針・具体行動例
③ ごみを出す前	<p>1)ごみの減量化に努めましょう。・・・リデュース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食材を使い切り、食べ残しの出ないように調理法を工夫しましょう。</li> <li>・生ごみを出すときは、水を切ってから出しましょう。</li> <li>・堆肥化容器を利用するなどして生ごみを減量しましょう。</li> </ul>
	<p>2)再利用に努めましょう。・・・リユース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使わなくなったものは、知人に譲ったり、バザーやフリーマーケットなどを利用して積極的に再利用するようにする。</li> <li>・電化製品、家具や衣料品などを修理し、長く使うようにしましょう。</li> </ul>
	<p>3)リサイクルに努めましょう。・・・リサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビールびんなどリサイクルされるものは販売店に返却しましょう。</li> <li>・缶やびん類、ペットボトル、紙類などは積極的に資源回収に出しましょう。</li> <li>・地域で行っている集団回収を利用しましょう。</li> <li>・小売店が行う発泡トレイなどの分別回収を積極的に活用しましょう。</li> <li>・家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機）やパソコンは、家電・リサイクル法に基づき処分しましょう。</li> <li>・可燃ごみを出すときは、「雑かみ」としてリサイクル出来るものがあるか確認してから出しましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>ごみの減量化や資源化は資源を有効に使うことにつながります。</p> <p>「捨てればごみ、分ければ資源」といったように、一人ひとりの小さな行動が循環型社会を創ります。可燃ごみが焼却された後の灰（焼却灰）や資源化できないごみは、最終処分場で埋立処分されますが、埋立量を減らし、できる限り長期にわたって使用していくことが必要です。</p>
④ 外出するとき	<p>1)環境に配慮した運転（エコドライブ）の実践に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急発進、急加速、空ぶかし、必要のないアイドリングはやめましょう。</li> <li>・自動車の整備点検をこまめに行いましょう。</li> <li>・トランクなどを整理し、必要のない荷物は載せないようにしましょう。</li> </ul>
	<p>2)自動車の利用をできるだけ控えるように努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くに移動するときは、自動車の使用を控え、徒歩や自転車などを積極的に利用しましょう。</li> <li>・バスや電車などの交通機関を積極的に利用しましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>ガソリン・軽油などの化石燃料の消費抑制をはじめ、大気汚染物質の排出削減や地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素の排出削減につながります。</p>

区分	環境の配慮指針・具体行動例
⑤ 家屋の管理など	1) 周辺の自然環境や景観への配慮に努めましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 周辺の自然環境を壊さないよう十分に配慮しましょう。</li> </ul>
	2) 周辺の緑化に努めましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 家の周辺を緑化しましょう。（庭先を緑化する際には、隣家や通行人などの迷惑にならないようにしましょう。）</li> <li>• 空き地は、周辺に迷惑にならないように定期的に草刈りするなどして管理しましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>自然環境や周辺環境の美化や保全につながります。</p>
	3) 生活排水対策を適切に行いましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共下水道などが整備されている地域では速やかに接続しましょう。</li> <li>• 公共下水道などの整備が見込めない地域は、浄化槽の整備を積極的に検討しましょう。</li> <li>• 浄化槽は法定点検などを行い適正に管理しましょう。</li> </ul>
⑥ な生活環境のために 住み良い暮らしや健全	<p>【取組みの効果】</p> <p>生活排水対策を適正に行なうことで、河川などの水環境の保全につながります。</p>
	4) 再生可能エネルギーの活用や省エネルギー型の住宅づくりに努めましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 採光、断熱、通気性に配慮した家づくりに努めましょう。</li> <li>• 家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」したり、家電機器を「自動制御」したりするエネルギーを節約するための管理システム（HEMS（ヘムス）：ホームエネルギーマネジメントシステム）の設置を検討しましょう。</li> <li>• 太陽光発電などの再生可能エネルギーも積極的に活用しましょう。</li> </ul>
⑥ な生活環境のために 住み良い暮らしや健全	<p>【取組みの効果】</p> <p>再生可能エネルギーの活用や省エネルギーが進むことで、消費電力量の削減につながります。結果、化石燃料の使用量が削減され、地球温暖化等の防止にもつながります。</p>
	1) 騒音や振動の防止に努めましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ペットの鳴き声も近所迷惑になる場合があるため十分に注意しましょう。</li> <li>• カラオケなどの深夜の使用は注意しましょう。</li> <li>• 自動車やバイクの空ぶかしや必要のないクラクション、暴走行為はやめましょう。</li> <li>• ピアノなどの楽器を弾く時は、近所への影響を考え、時間帯などにも気を配りましょう。</li> <li>• テレビやステレオなどの音量は小さくし、特に深夜の利用は周辺に音が漏れないように心がけましょう。</li> </ul>

区分	環境の配慮指針・具体行動例
⑥ な生活環境のために 住み良い暮らしや健全	<p>2) マナーを守り、まちの美化に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペットのふんは、飼い主がきちんと始末しましょう。</li> <li>○たばこの吸い殻や空き缶、弁当殻などのポイ捨てをしないようにしましょう。</li> </ul> <p>【取組みの効果】</p> <p>近年、市に寄せられる公害苦情の多くは、生活に密接したものが多くなっています。きれいでみんなが住みやすい生活環境を創っていくためには、一人ひとりの周辺への配慮とモラルをもった行動が大切です。</p>
⑦ 自然とふれあい文化を大切にするために	<p>1) 自然とのふれあいに努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に関心を持ち、休日を利用して、自然と触れ合うようにしましょう。</li> <li>・自然と触れ合える場（行事等）に積極的に出かけましょう。</li> </ul> <p>2) 自然環境を守りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自生する植物を持ち帰らないなど、野鳥や昆虫、植物など生き物を大切にしましょう。</li> <li>・外来の動植物を放置あるいは放出しないようにしましょう。（外来の動植物が在来の動植物を駆逐し、地域にあった本来の生態系を壊す恐れがあります。例えば、ブラックバス、つめた貝など）</li> <li>・ごみは必ず持ち帰りましょう。（浜辺、河川敷などへの弁当殻、空き缶などの放棄が多く見受けられます。ごみの不法投棄だけでなく、自然環境、生態系への影響が懸念されるため、社会的モラルが求められます。）</li> </ul> <p>3) 地域の歴史や文化財の継承に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里浜貝塚をはじめとして貴重な文化財が多くあります。次の世代に継承できるようにしましょう。</li> <li>・郷土芸能・伝統文化を大切にしましょう。</li> </ul> <p>【取組みの効果】</p> <p>地域の自然環境や歴史、伝統文化を愛しむ気持ちを育てます。</p>
⑧ 環境に配慮した活動をするために	<p>1) 環境に関する学習に努め、暮らしを見直しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する情報の収集や、学習に努めましょう。</li> <li>・日常生活や事業活動が、環境にどのような影響を与えているか考えてみましょう。</li> <li>・環境家計簿などを活用しながら日常生活を見直してみましょう。</li> </ul> <p>2) 日常における環境保全活動の実践に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市やNPO団体などが行う活動に積極的に参加してみましょう。</li> <li>・休日などを利用して自宅周辺の美化に努めましょう。</li> </ul> <p>【取組みの効果】</p> <p>地域環境や地球環境保全のための正しい知識を習得する機会となります。また、よりよい環境をめざし、自らが考える機会となります。</p>

## (2) 事業者

区分	環境の配慮指針・具体行動例
① エネルギーや水などを使用するとき	<p>1) 職場における電気の節約に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使っていない部屋の照明やOA機器のスイッチはこまめに消しましょう。</li> <li>• 待機電力の使用量を削減するために主電源を切りましょう。(コンセントからプラグを抜くと効果的です。)</li> <li>• 定期的な清掃など、電化製品の適切な使用に努めましょう。</li> <li>• エレベーターなどの使用を控えましょう。</li> <li>• 冷(暖)房の温度設定を今までより、少し上(下)げましょう。</li> <li>• 定期的に事務所内のエネルギー使用量を把握し、省エネルギーに努めましょう。</li> <li>• 業務時間の合理化を図りましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>電力消費量の削減につながります。また、ピーク電力消費量を削減することになり、化石燃料の消費が抑制され、地球温暖化の防止にもつながります。</p>
	<p>2) 職場における水の節水に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水道は、水を流しっぱなしで使わないようにしましょう。</li> <li>• 節水コマなどを付け、水道使用量を削減しましょう。</li> <li>• トイレに感知式洗浄弁を設置するなど、水洗トイレの水の使用量を減らしましょう。</li> <li>• 草木への水やりや洗車などには、雨水を積極的に活用しましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>水資源の有効活用につながります。水道水を作るには多くのエネルギーや資源が必要なため、水以外の資源を節約することにもつながります。</p>
	<p>3) 職場における化石燃料の消費抑制に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 湯沸かし器の口火はこまめに消しましょう。</li> <li>• 給湯器の温度設定をできるだけ低くしましょう。</li> <li>• ガスコンロの火が大きくはみ出さないように(中火)使用し、お湯を沸かすときは、必要以上に沸騰させないようにしましょう。(例えば、煎茶は80℃程度が適温とされています。)</li> <li>• ガスコンロのバーナーは、こまめに清掃しましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>化石燃料の消費抑制につながります。化石燃料はその燃焼に伴い、二酸化炭素などを排出します。二酸化炭素の排出を抑制することは、地球温暖化の防止にもつながります。</p>

区分	環境の配慮指針・具体行動例
② 物品を購入するとき	<p>1)リサイクル製品や省エネルギー製品などの購入に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコマークやグリーンマークなどの環境ラベルの付いた製品を買きましょう。</li> <li>・紙製品は、再生紙を利用したものを買しましょう。また、できるだけ古紙配合率の高い製品を買きましょう。</li> <li>・OA機器などを購入するときは、省エネルギー型の製品を買きましょう。</li> </ul>
	<p>2)ごみの排出削減に配慮しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再利用、リサイクル可能な製品を買きましょう。</li> <li>・商品を購入する場合は必要以上の包装を断りましょう。(簡易包装の推進)</li> <li>・修理の体制が充実し、長期間の使用が可能な製品を買きましょう。</li> <li>・詰め替え可能な製品を買きましょう。</li> </ul>
③ 物品を廃棄するとき	<p>【取組みの効果】</p> <p>廃棄物の排出が削減され、その処理に必要なエネルギーの削減にもつながります。省エネルギー型の製品は、電力消費量が削減され、電気代の節減のほかに二酸化炭素の排出削減が期待できます。</p>
	<p>1)職場におけるごみの減量化を推進しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷・両面コピーを心がけましょう。</li> <li>・ミスコピーや使用済み紙の裏面を再利用しましょう。</li> <li>・会議資料の部数・ページ数を必要最小限にしましょう。(資料等は電子データなどをうまく活用し、できるだけ紙への印刷を控えましょう。)</li> <li>・事務用品や備品は大切に使い、なるべく長く使うようにしましょう。</li> <li>・生ごみは、水をよく切り、減量化に努めましょう。(コンポスト容器などを活用し、堆肥化し、花壇などの肥料として利用しましょう。)</li> </ul>
	<p>2)職場におけるリサイクルを推進しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別回収を徹底しましょう。</li> <li>・空き缶やびん類、ペットボトル、古新聞、段ボール、紙製容器、包装紙などは、資源ごみとしてリサイクルに努めましょう。</li> </ul>
	<p>3)事業系ごみの適正処理に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所からのごみは、処理業者に依頼するなどして、適正に処理しましょう。</li> <li>・有害物質などは特に注意し、適正に処理しましょう。</li> <li>・特定フロンを使用している冷凍庫やエアコンを処分する際には、適正に処理しましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>ごみの減量化や適正処理及び資源やエネルギーの有効利用につながります。</p>



区分	環境の配慮指針・具体行動例
④ 自動車を利用するとき	<p>1)環境に配慮した運転（エコドライブ）の実践に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要のないアイドリングはやめましょう。</li> <li>・急発進、急加速、空ぶかし、スピード運転はやめましょう。</li> <li>・必要のない荷物は載せないようにしましょう。</li> <li>・自動車の整備点検をこまめにしましょう。</li> </ul>
	<p>2)自動車の利用をできるだけ控えるように努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張などには、できるだけバスや電車などの交通機関を利用しましょう。</li> <li>・近距離の移動は徒歩や自転車を利用しましょう。</li> <li>・同じ方向に移動するときは、相乗りするようにしましょう。</li> </ul>
	<p>3)低公害車などの環境への負荷の少ない自動車の導入と利用に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入や代替えの際には、低公害車・低排出ガス車などの環境への負荷の少ない自動車の導入に努めましょう。</li> <li>・商品などの輸送には、低公害・低排出ガス車などを積極的に利用しましょう。</li> </ul>
	<p>【取組みの効果】</p> <p>化石燃料の消費抑制や大気汚染物質の排出削減、さらに、地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減につながります。</p>
	⑤ 事業所や工場などを建設・管理するとき
<p>2)工場・事業所の緑化に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場・事業所などの敷地内の緑化に努めましょう。</li> <li>・敷地内の緑化にあたっては、周辺に迷惑のかからないようにしましょう。</li> <li>・所有地（特に空き地）は、周辺に迷惑にならないように除草しましょう。</li> </ul>	
<p>3)排水処理施設などの整備と適正管理に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道が整備されている地域では速やかに接続しましょう。</li> <li>・下水道整備区域外の地区は、浄化槽等の整備をしましょう。</li> <li>・下水道や浄化槽の汚水ますは、定期的に清掃しましょう。</li> <li>・有害物質を使用している場合は、適正な管理を行い環境への影響を考慮しましょう。</li> <li>・地下水は、地盤沈下などが発生しないよう適正に利用しましょう。</li> </ul>	

区分	環境の配慮指針・具体行動例
⑤ 事業所や工場などを建設・管理するとき	<p>4)再生可能エネルギーを活用したり、省エネルギー型の建物の建設に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な空調システムや省エネ型の照明機器を採用するなど、建物自体で省エネルギーに努めましょう。</li> <li>・採光、断熱、通気性に配慮した工場・事業所などの建設に努めましょう。</li> <li>・太陽や風などの再生可能エネルギーを積極的に活用しましょう。</li> <li>・節水型機器の導入に努めましょう。</li> <li>・雨水ますなどを設置し、雨水を積極的に利用しましょう。</li> <li>・廃熱などの未利用エネルギーを有効に利用しましょう。</li> <li>・建物や工場に設置された設備や機器の運転データ・エネルギー使用量データを蓄積・解析し、効率よく制御することでエネルギー消費量の最適化・低減を図る管理システム（BEMS（ベムス）：ビルエネルギーマネジメントシステム、FAMS（ファムス）：ファクトリーエネルギーマネジメントシステム）の設置を検討しましょう。</li> </ul> <p>【取組みの効果】</p> <p>自然環境や周辺環境の美化や保全、エネルギーや水環境を有効に使うことにつながります。</p>
⑥ に 悪臭や騒音・振動など公害をなくすため	<p>1)工場や事業所における悪臭防止の徹底に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪臭を発生する施設は、密閉性に留意し、高効率の脱臭装置等の設置に努めましょう。</li> <li>・悪臭を発生させないように従業員などの技術的指導を徹底しましょう。</li> <li>・悪臭防止のため、日頃から機器の維持管理などを徹底し、調査や研究を積極的に行いましょう。</li> </ul> <p>2)工場や事業所における騒音や振動の防止に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車などの空ぶかしやアドリングをやめましょう。</li> <li>・トラックなどの大型車を使用するときは、周囲への騒音や振動に十分に注意しましょう。</li> <li>・防音壁など遮音、消音設備を整備しましょう。</li> <li>・低騒音、低振動型の機器を積極的に導入しましょう。</li> <li>・設備の適正管理を徹底しましょう。</li> </ul>

区分	環境の配慮指針・具体行動例
⑦ 生ずるために 自然や地域と共	<p>1)自然環境に配慮した事業活動を推進しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業活動における環境への配慮に努めましょう。</li> </ul> <p>2)積極的な環境保全活動に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境保全活動を積極的に行いましょう。</li> <li>・歴史的・文化的遺産の保全に協力しましょう。</li> </ul>
⑧ 地球環境のために	<p>1)事業活動における温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出抑制に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場や事業所における省エネルギーを推進し、環境負荷の少ない再生可能エネルギー等の導入を検討しましょう。</li> <li>・原材料の調達や製造・輸送過程での温室効果ガスの排出抑制に努めましょう。</li> </ul> <p>2)国際的視点で環境保全に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を保全するための技術開発に努めましょう。</li> <li>・酸性雨原因物質（硫黄酸化物や窒素酸化物など）の排出抑制対策を推進しましょう。</li> <li>・輸出入の際は、有害な物質などをできるだけ出さない（入れない）よう努めましょう。</li> </ul> <p>【取組みの効果】</p> <p>事業所ごとの地道な取組みが、地球環境の保全につながります。</p>
⑨ 環境に配慮した活動を実践するために	<p>1)環境に配慮した事業活動を行うための体制を整備しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全に関する基本方針や行動指針を定めましょう。</li> <li>・環境保全に配慮した行動に関するマニュアルなどを作成しましょう。</li> <li>・環境保全のための担当部署などの設置を検討しましょう。</li> <li>・ISO14001 認証取得に向けて取組みましょう。</li> </ul> <p>2)職場内での環境学習に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内における環境学習（教育）を推進しましょう。</li> <li>・市やNPOが行う環境学習などへ積極的に参加しましょう。</li> </ul> <p>3)環境保全活動の実践に努めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内で出来る身近な環境保全活動を実践しましょう。</li> <li>・地域で行う環境保全活動へ参加・協力しましょう。</li> </ul> <p>【取組みの効果】</p> <p>地域環境や地球環境保全のための正しい知識を習得する機会となります。また、より良い環境をめざし、自らが実践する機会となります。</p>